

あやめ池学園南

9 条の会

発行者 吉川好胤 あやめ池南1-3-32
fax 0742-44-0416

奈良の戦跡を訪ねる～第2回～

5月16日（日）10時に天理駅集合

天理の街に

予科練の跡に行く

ガイド
歴史教育者協議会公員

吉川好胤

昨年に引き続き「奈良の戦跡を訪ねる」第2回「」に取り組みます。日程は、5月16日（日）。（当日午前7時の時点で雨天の場合は延期）目的地は、天理の予科練の跡など。午前10時 天理駅集合、午後3時解散予定。（弁当飲み物持参）

海軍航空隊奈良分遣隊の発足は、1943年（昭和18）年12月1日、三重海軍航空隊奈良分遣隊が天理教の町、丹波市（たんばいち）を中心に発足したものです。隊員数900名。兵舎として天理教信者詰所等を接収。海軍飛行予科練習生（予科練）の教育を実施。発足と同時に甲飛13期生（後期）が1万1601名入隊。62分隊に別れ、25兵舎（詰所）に分宿しました。

※奈良海軍航空隊とは45年（昭和20）3月1日、三重海軍航空隊から独立して「奈良海軍航空隊」となり、第24聯空に編入された。

奈良隊予科練生の特攻要員転隊先は、

- ① 44年9月、人間魚雷「回天」訓練のため甲飛13期生数十名が広島県呉、愛知県大津島に入所。
- ② 同年9、10、11月と「震洋」訓練のため長崎県川棚臨時魚雷艇訓練所に一部が入所。



皇住神社、皇居跡には皇居が
ひ見え、社の後に皇居跡が
見えます。

③ 45年1月、水中特攻兵器要員として広島県大竹潜水学校へ一部が入校。

④ 同年2月、水中特攻兵器要員として山口県柳井潜水学校へ一部が入校となっている。

今回たずねる奈良分遣隊本部跡は、田井庄町の現名東大教会信者詰所を43年（昭和18）3月末に接収、分遣隊第一本部を設置。名東詰所は川原城町にあった八木詰所に移転同居。門を入って左手に当時の防空壕が残る。玄関左手の帽子掛、応接室もそのまま残る。会長宿舍との垣根もその時の造作という。

本部周辺の兵舎跡、本部周辺を中心に接収状況の一部を概観することとします。

① 天産航空部品株式会社 社跡

② 第一兵舎跡

③ 通信講堂跡湖東詰所

④ 土官宿舍跡

⑤ 分遣隊関係病院跡

⑥ 第二兵舎跡

⑦ 練兵場跡

⑧ 第三兵舎跡

⑨ 第4、第8兵舎跡

⑩ 練兵場跡等

開隊当時の丹波市駅前当時の省線丹波市駅は現ラセーナ公園・市民会館辺りに位置した。駅前に入隊者を分隊毎に集め兵舎まで行進。「駅の構内に布張りの赤トンボが

あやめ池駅のバリアフリー実現へ

あやめ池地域を考える会（仮）発足

先ごろ、あやめ池遊園地跡で戦前の兵器が発見されたとの報道。兵器博覧会を開催していた往時の物とか。

今、あやめ池は、景観や環境にも配慮した、病院、学校、健康増進施設、結婚式場やショッピング

10機ほど貨車に積んだまま置いてある。飛行場も兵舎も見えない。」と入隊者は述懐している。（裏面地図参照）

春の1日、戦跡を訪ね「平和」について思いをめぐらせて見ませんか？

恒例の静岡茶幹旋

2200円（200g）

4月30日締切
申込は、代表世話人まで

センターなどを備えた新しい街に生まれ変わろうとしている。駅のバリアフリー化も喫緊の課題です。今度は、平和で、安心して住み続けられる街として生まれ変わるように「九条の会」も、様々な取り組みをします。